



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：大阪市政記者クラブ)

2014年12月16日
公立大学法人大阪市立大学 広報室
Email: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

大阪市立大学・大阪市博物館協会 包括連携協定企画

シンポジウム「難波宮と大化改新Ⅱ」を開催します

大阪市立大学と大阪市博物館協会は、平成27年2月22日(日)に大阪市立大学基礎教育実験棟内の階段教室において、シンポジウム「難波宮と大化改新Ⅱ」を開催します。

難波宮跡発掘調査は、昭和29年に故山根徳太郎氏が本学を退官後に開始し、その後は大阪市、大阪文化財研究所へと受け継がれました。難波宮跡の解明が進むとともに遺跡は史跡公園となり保存されていますが、発見された2時期の宮殿遺構のうち、前期難波宮は7世紀中頃の孝徳朝難波長柄豊碕宮と考えられます。難波の地は飛鳥から都を移し、大化改新の諸政策が実施されたまさにその舞台上、その評価をめぐって長く論争が繰り返されてきました。前期難波宮は内裏・朝堂院を南北に連ね、その東西に官衙を置く日本古代宮室の起源をなす画期的な王宮です。これこそが孝徳朝がめざした国家構想を体現するもので、大化改新が虚構でないという最も明確な証拠だと言えます。そこで、平成26年2月に開催した「発掘60周年記念学術シンポジウム 難波宮と大化改新」に引き続き、難波宮跡と大化改新論についての最新の研究成果に基づき再び議論を行います。皆さまのご応募をお待ちしております。

記

- 1 日 時 平成27年2月22日(日) 12時30分～17時(開場:12時～)
- 2 場 所 大阪市立大学基礎教育実験棟1F 階段教室
(JR阪和線「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車東改札から徒歩8分・地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車 徒歩20分)
- 3 プログラム
 - 【開会挨拶】12時30分～12時40分
 - 【第1部 講演】
 - 12時40分～13時20分
「孝徳朝のめざしたもの」 磐下 徹 (大阪市立大学大学院文学研究科 講師)
 - 13時20分～14時00分
「条里制と地方行政区画」 岸本 直文 (大阪市立大学大学院文学研究科 准教授)
 - 14時00分～14時40分
「難波の宮と京の設計方法」 市川 創 (大阪文化財研究所 学芸員)
 - 14時40分～15時20分
「前期難波宮と唐の太極宮」 村元 健一 (大阪歴史博物館 学芸員)
 - 【第2部 ディスカッション】
 - 15時30分～16時50分 司会 積山 洋 (大阪歴史博物館 学芸員)
 - 【閉会挨拶】16時50分～17時

- 4 主 催 公立大学法人大阪市立大学・公益財団法人大阪市博物館協会
5 協 力 朝日新聞社
6 参 加 費 無 料
7 定 員 350 名（事前申し込み制・申込多数の場合抽選）
8 申 込 方 法 往復はがきの往信面に、①住所、②氏名（ふりがな）、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名を記入の上、下記宛先までお申し込みください。
- 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
大阪市立大学学務企画課 地域連携センター「難波宮と大化改新Ⅱ」係
【応募受付期間】平成 27 年 1 月 9 日（金）～23 日（金）
- 9 注 意 事 項
- ※ 必ず上記の応募受付期間内にご応募ください。期間外のご応募は受付できません
 - ※ 期間内（平成 27 年 1 月 9 日（金）～1 月 23 日（金））の消印のついたはがきのみ有効です。
 - ※ 1 枚のはがきに 1 名のみ記載可。重複応募不可。申込多数の場合は抽選となります。
 - ※ 参加申込された方の個人情報は、この事業に関する連絡のみに使用します。また、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 地域連携センター 担当：奥平・大石
TEL：06-6605-3504 FAX：06-6605-3505

シンポジウム

難波宮と大化改新Ⅱ



前期難波宮 復元模型
大阪歴史博物館 10階展示

平成27年 **2月22日(日)** 12時30分～17時 (受付12時より)

大阪市立大学 杉本キャンパス 基礎教育実験棟1階 階段教室

参加費無料 定員 350名 (事前申し込み制)

◀ **本講演には事前に申込が必要です** ▶

【参加申込方法】 往復はがきに、①住所、②氏名（ふりがな）、③連絡先電話番号を記入し、返信面に返信先住所・宛名を記入の上、下記宛先までお申し込みください。

【申込先】 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター「難波宮と大化改新Ⅱ」係

【問い合わせ先】 TEL: 06-6605-3504

【応募期間】 平成27年1月9日(金)～23日(金) ※当日消印有効

※必ず左記の応募期間内にご応募ください。(期間内の消印のついたはがきのみ有効です。) 期間外のご応募はお受けいたしません。

※1枚のはがきに1名のみ記載可。重複応募不可。申込多数の場合は抽選となります。

※参加申込された方の個人情報は、この事業に関する連絡のみに使用します。また、本人の同意なしに個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

シンポジウム 難波宮と大化改新 II

平成27年2月22日(日)12時30分～17時 大阪市立大学 杉本キャンパス 基礎教育実験棟1階 階段教室

昭和29年(1954)に開始された難波宮跡(なにわのみやあと)発掘調査により2時期の宮殿遺構が発見されています。このうち前期難波宮は7世紀中頃の孝徳朝難波長柄豊碕宮(なにわながらとよさきのみや)と考えられ、難波の地は、飛鳥から都を移し、大化改新の諸政策が実施されたまさにその舞台でした。

大化改新の評価をめぐる長く論争が繰り返されてきましたが、前期難波宮は日本古代宮室の起源をなす画期的な王宮であり、これこそ孝徳朝がめざした国家構想を体現するもので、大化改新が虚構でない最も明確な証拠となるものです。今回は、平成26年2月の学術シンポジウムに続き、難波宮跡と大化改新論について、最新の研究成果に基づき再び議論します。

第1部 講演

1. 孝徳朝のめざしたもの

磐下 徹 (大阪市立大学大学院文学研究科講師)

大化改新は、何を「改」め、何を「新」しくしたのでしょうか？ また、その目的はどこにあったのでしょうか？ 昨年に引き続き「評(こおり)」をとりあげ、この新たな地方統治の仕組みと、部民制などそれ以前の仕組みとの比較を通し、この問題を考えます。その上で、孝徳朝や難波宮のもつ革新性や歴史的意義に迫ってみたいと思います。

2. 条里制と地方行政区画

岸本 直文 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授)

中国にならった地方行政制度の導入は、蘇我排除後の大化改新により可能となります。人々に田地を班給し租税を徴収するためには、人口と土地の把握が不可欠です。そこで、改新政府が取り組んだ、土地を計量し班田を実行するための条里地割という区画整備と、国土を国・評・五十戸に区分する領域編制について考えてみます。

3. 難波の宮と京の設計方法

市川 創 (大阪文化財研究所学芸員)

難波京に架かる橋や、難波京南端想定地で大規模な建物群が見つかるなど、近年の発見により、難波京の研究は飛躍的に進展しました。難波宮と京の関係についても考える材料が増えています。難波宮そして難波京は、いつどのように設計され、どの程度実現したのか、最新の発掘調査成果をふまえ探ってみたいと思います。

4. 前期難波宮と唐の太極宮

村元 健一 (大阪歴史博物館学芸員)

7世紀の前期難波宮の設計には、中国宮城の影響が認められると考えられています。その点を明らかにするには、同時期の中国の唐・長安の太極宮の成立の過程とその歴史的意義を解明することが不可欠です。そこで、太極宮の成立を魏晋南北朝時代の宮城までさかのぼって考え、前期難波宮への影響について考えてみたいと思います。

第2部 ディスカッション

司会：積山 洋 (大阪文化財研究所学芸員) パネラー：磐下 徹・岸本 直文・市川 創・村元 健一

最寄駅からの案内図



◆大阪市立大学 杉本キャンパス◆
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL:06-6605-3504 (地域連携センター)
▶本学への来校には公共の交通機関を利用し、車やバイクでの来校はご遠慮ください。

ミュージアム連続講座 2014 大坂の陣とその時代

今年度のミュージアム連続講座は、大阪市立東洋陶磁美術館、大阪市立美術館、大阪城天守閣、大阪歴史博物館の4館に、大阪文化財研究所と大阪市立大学が加わり、「大坂の陣とその時代」をテーマに全3回(6講座)の講演会を行います。

平成 27年1月30日(金) / 2月6日(金) / 2月13日(金) 全3回
大阪市立難波市民学習センター講堂 いずれも午後7時～8時30分(午後6時30分開場)

全3回【一括申込：事前申込が必要です】
往復はがきで応募 平成27年1月15日(木)締切(当日消印有効)
詳細は 大阪博物館協会ホームページ 下記 URL でご確認ください。
<http://www.ocmo.jp/>

